

# 都市近郊の利点をいかし、地域と密着した農業を展開 ～農事組合法人野寺営農～

## 経営体の概要

現在：平成28年  
 基幹作物：水稻、大麦、大豆（黒大豆）、えだまめ、キャベツ  
 経営面積：17ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

本法人の前身である野寺営農組合は平成12年に設立され、新たな担い手や後継者を育成するため、平成25年に野寺営農として同組合を法人化した。法人化後に、専従者1名を配置し、年間を通じて農作物の栽培ができるようキャベツの作付けや、収益性向上のため丹波黒大豆を始めた。農作業は役員23名がオペレータ出役などで行うほか、役員以外の組合員（50名）も農業や農地に無関心とならないように、年2回の草刈り作業をすることとし、地域と密着した農業を展開している。

## 営農改善のポイント

### ①栽培技術の確立・向上・省力化

前歴事業で設置されたかん水施設を有効利用し、大豆やキャベツのかん水作業は、ほ場内を水路のように溝を掘って給水栓からかん水することで品質と収量確保に加え、省力化も図っている。大豆（早生黒）は、農業改良普及センターの栽培指導により密植栽培を行ない、除草作業の軽減と収穫作業（JAへ委託）の機械化も図っている。

雑草抑制効果があるヘアリーベッチをすき込んだ後、水稻を付けすることで、除草作業の省力化と肥料費の低減に取り組んでいる。



給水栓とほ場内（キャベツ）



大豆（早生黒）の密植栽培



大豆（丹波黒）

### ②流通・販売の工夫

野寺地域の米は、食味に優れ、消費者の人気も高い。米の販売は、消費者への直接販売のほか、個人商店などに出荷している。また、自治会に回覧板で注文の受付を行うことによる販売も行っている。さらに、都市近郊の利点をいかし、注文を受けた米は、直接法人が配達し、地域と密着した販路の拡大・確保にも取り組んでいる。

水稻以外の大麦や乾燥大豆、キャベツはJAへ出荷し、市場での評価も高く、丹波黒のえだまめは仮設直売所を開設して販売し人気を得ている。

## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
 関係市町：兵庫県神戸市、明石市、加古川市、三木市、加古郡稲美町  
 受益面受：7,313ha  
 事業期間：平成25～33年度  
 事業目的：用水改良  
 主要工事：ダム2箇所、揚水機場1箇所、用水路L=14.9km等

## 位置図（兵庫県）



<問い合わせ先>  
 近畿農政局 農村振興部  
 農村環境課 営農担当  
 電話：075-451-9161  
 （内線2452）

（平成28年度調査時点）